

平成 29 年度教科書選定に係る基本方針

埼玉県立滑川総合高等学校

平成 17 年度に進学型総合学科に改編した本校は、生徒の多様な進路希望に応じるべく、総合選択科目を中心にしたモデルプランを提示するとともに、各教科・科目の指導内容を明記した履修の手引き（シラバス）を作成している。

今年度の重点目標の一つに「一人一人が目的意識を持った学習活動による学力の向上と定着」を挙げている。基礎基本の確実な定着はもちろんのこと、思考力・表現力・判断力を育み、意欲的な学習習慣の確立に向けて指導方法の改善を図るとともに、個に応じた指導を行う中で生徒の主体的な取組を促している。

特に選択科目においては、必然的に少人数となるため、きめ細やかな指導体制で、知識注入に偏らず多面的・多角的な見方が身につけられるよう取り組んでいる。その方針は、一斉展開である必修科目においても継承されている。

上記を踏まえ、下記のとおり、教科書選定の基本方針を設けている。

- 基礎的・基本的事項が確実に定着できる。
- 視覚的に整っており、学習意欲が高まる。
- 生徒自身が課題意識を持って取り組める。
- 教科書で完結せず、発展的な学習が可能である。
- 卒業後の社会生活と関連ある学習内容を有する。